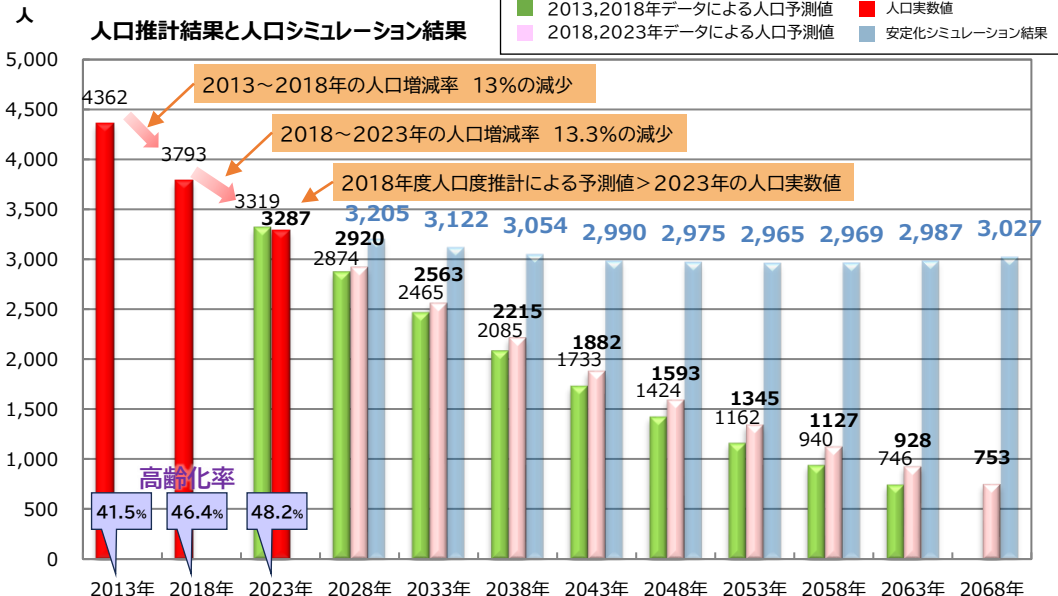
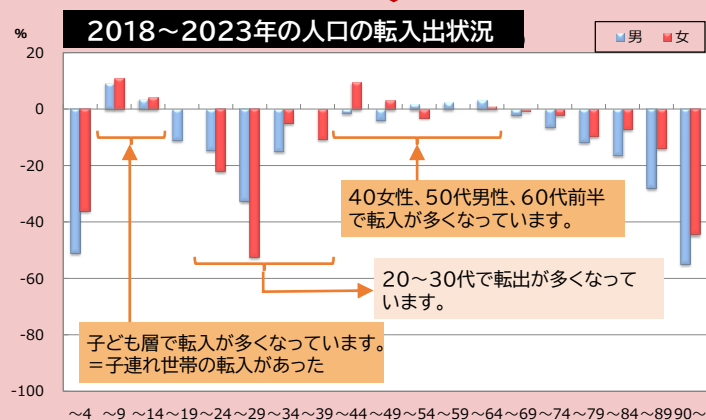
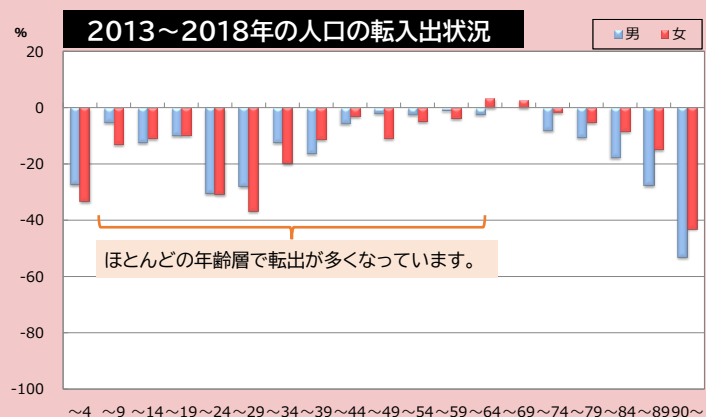


# 06 人口推計結果(5年前の推計結果と本年度の推計結果を比較)

三次市では2018年度から毎年人口分析を実施しています。この度は最新の2023年度推計結果(2018年と2023年の4月末時点データを使って行った将来人口予測結果)と5年前の2018年度推計結果(2013年と2018年の4月末時点データを使って行った将来人口予測結果)を比較しました。この5年間でどのように変化したのかを見てみましょう。

以下のグラフは2013~2018年と2018~2023年間の人口の転入出状況を表したものです。

- 5~64歳は5年前に0~60歳だった集団の人口と比較した増減率を5歳刻みで表しています。
- 65歳以上は自然減を含みます。
- 0~4歳は転入出状況ではなく、単純な5年前との増減率です。



吉舎地区では2013~2018年と2018~2023年間の二期間から分析した将来推計はどのように変化したのでしょうか？

- 人口増減率 減少率はほぼ変わらない(2013~2018年間:-13% → 2018~2023年間:-13.3%)
- 高齢化率 上昇した(2013年~2023年間で +6.7ポイント)
- 人口の転入出状況 改善点 子連れ世帯、40~60代の一部が転出超過から転入超過に変化  
悪化点 20代後半女性の転出超過の割合が強まった

人口減少率は同程度であり、コーホート変化率の変化をみると子連れ世帯と50~60代の転入が改善し、全体的には改善傾向にあります。

以下のように人口動態を改善させると、青いグラフのように人口を安定化させることができます。

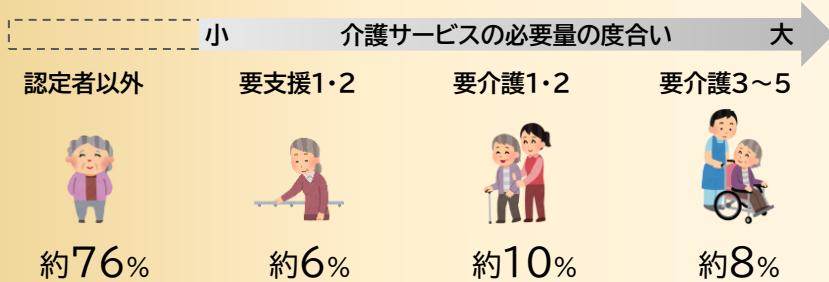
**30代子連れ家族・20代前半男女・60代前半男女を 毎年 各6.0組(約42人) 転入**  
(10代後半の流出率の半減と出生率の段階的な改善を前提としています。)

# 07 介護分析結果

※この介護分析は、介護施設に入所している人は元の住所に戻してから分析を行っているため、地域内の介護施設の有無には影響されません。

三次市では2019年度から毎年介護分析を実施しています。この度の分析結果は2023年4月末時点のデータを使って行った分析結果です。吉舎地区の介護分析結果と全国平均、三次市とを比較した結果を見てみましょう。

## 地区の65歳以上の方の介護の状況

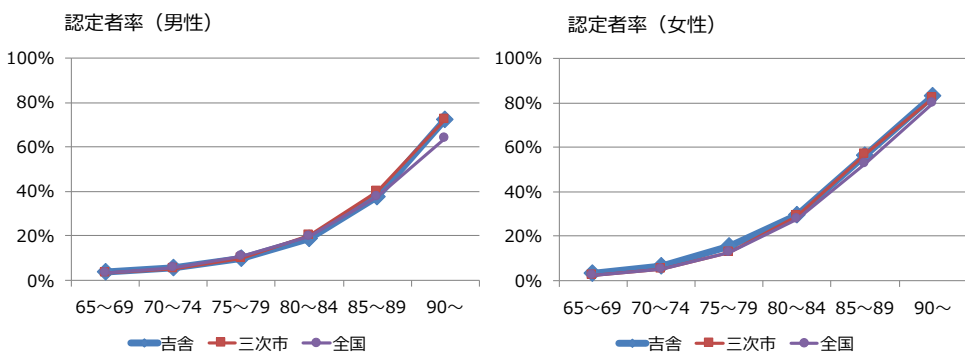


吉舎地区の高齢者の内約24%が介護認定を受けています。

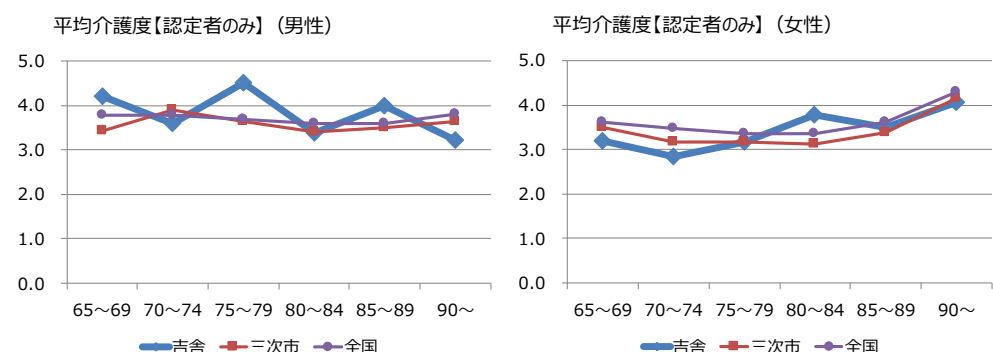
## 吉舎地区は全国平均と比較してどんな地域と言えるでしょうか？

- 認定者率 男性 **高め**(特に80代)  
女性 **高め**(特に80代後半)
  - 認定者の平均介護度 男性 **低め**(特に60代後半、70代後半、80代後半)  
女性 **高め**(特に80代前半)
- 全国平均と比較して、程度は様々だが介護や支援を必要とする方が男女ともに多い地域
- 全国平均と比較して、手厚い介護を必要とする方が男性で少なく、女性で多い地域

## 年齢層別に認定者率を見てみた



## 年齢層別に介護度の平均値を見てみた



全国平均に比べて、男性は80代前半で低めだが、それ以外の年齢層で同程度か高めとなっています。女性はすべての年齢層で高めとなっています。

全国平均に比べて、男性は60代後半、70代後半、80代後半で高め、それ以外の年齢層で低めとなっています。女性は80代前半で高め、それ以外の年齢層で低めとなっています。

※平均介護度は要支援1=1,要支援2=2,要介護1=3,要介護2=4……要介護5=7とした場合の平均値です。